



会長:久松 但

Tadashi Hisamatsu

任期:2019年6月~2022年6月

日本公認会計士協会東海会会長の久松但でございます。東海会は東海地区4県、愛知県・静岡県・岐阜県・三重県に所属する会員で構成されており、会員数は記載のとおりです。東海会は、21の部・委員会と二つの小委員会で構成され、様々な会務活動を行っています。公認会計士は、企業の監査会計に係る業務だけでなく、自治体や公益法人、社会福祉法人や医療法人などにも業務を広げています。

また、東海地区は車両などの製造業が盛んな地域であり、監査対象となる企業のほか、関連する業務に係る中小企業も多くあります。東海会に所属する会員の中には税理士資格を保有する会員も多く、中小企業にも役立つようなアドバイスもできると 생각합니다。このコンサルタント業務は、公認会計士が監査を通じて企業の様々な場面に立ち会ってきたことにより得てきた知見を使って行うものです。

当協会では、会計基礎教育の一環として、小学生・中学生に対して会計の面白さを伝えるべく「ハロー!会計」を実施しています。東海会でも4県各地で実施し、過去名古屋市のほか、岐阜市、四日市市、静岡市、浜松市などでも実施してきました。ゲーム感覚で楽しめるイベントですので、興味がありましたら参加していただきたいと思 います。

次期執行部では、以下の点を強く意識して、様々な活動及び事業を企画・運営してまいりたいと考えています。

1. 東海地区の大手・準大手監査法人と中小監査法人・個人事務所の連携強化と補完関係の強化
2. 大企業のみならず中堅・中小企業を支援する事業の実施
3. 多様化する公認会計士に対するニーズ(組織内会計士、社外役員、地方自治体の監査委員等)に応える事業及び活動の実施
4. SDGsに貢献する東海会としての事業及び活動の実施
5. 東海会の4つの県会の活動支援と連携強化
6. 東海地区の官庁、経済団体、隣接土業団体、各種事業の上部団体とのコミュニケーション及び連携の強化
7. 協会本部での東海会の存在感発揮、意見の反映、東海会へのフィードバック

活動や事業の詳細は省略しますが、当協会本部の事業計画を踏まえて、地域会が担うべき事業及び活動を実施してまいります。多くの諸先輩方が築き上げてきたアットホームな東海会を盛り上げ、良い形で次世代にバトンを渡すことができるように全力で務める所存です。

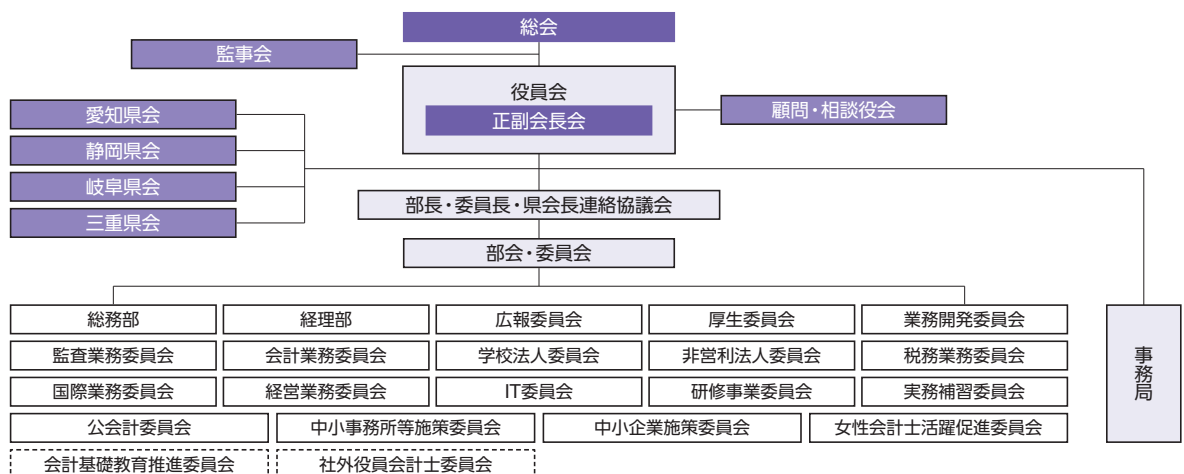


次期会長:稲垣 靖

Yasushi Inagaki

任期:2022年6月~2025年6月

東海会組織図(2022年3月末時点)



(注) [] は2022年度からの新設委員会です。

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
愛知県会	1,168	1,281	1,348	1,388	1,406	1,441	1,490	1,505	1,518	1,560	1,575
静岡県会	245	279	290	308	318	322	330	350	353	340	341
岐阜県会	102	110	118	127	134	140	142	155	157	150	158
三重県会	72	78	81	93	97	102	105	112	108	104	102
合計	1,587	1,748	1,837	1,916	1,955	2,005	2,067	2,122	2,136	2,154	2,176

役員一覧 (2022年3月末時点)

会長	久松 但										
副会長	稲垣 靖 (愛知県会)	岩田 国良 (愛知県会)	柘植 里恵 (愛知県会)	浅野 裕史 (静岡県会)	下條 俊幸 (岐阜県会)	木村 好己 (三重県会)					
幹事	浅井 明紀子 (愛知県会) 小笠原 修文 (愛知県会) 佐野 正人 (愛知県会) 都 成哲 (愛知県会) 寺島 真吾 (静岡県会) 端地 忠司 (三重県会)	石崎 勝夫 (愛知県会) 川原 光爵 (愛知県会) 新開 智之 (愛知県会) 横井 陽子 (愛知県会) 原田 俊輔 (静岡県会) 森 智 (三重県会)	石原 崇行 (愛知県会) 河村 崇志 (愛知県会) 深谷 玲子 (愛知県会) 畔村 勇次 (静岡県会) 山田 夏子 (静岡県会)	伊東 和男 (愛知県会) 北岡 宏仁 (愛知県会) 二村 友佳子 (愛知県会) 岩田 礼司 (静岡県会) 大野 晴広 (岐阜県会)	伊藤 貴俊 (愛知県会) 鬼頭 潤子 (愛知県会) 古川 一也 (愛知県会) 加山 秀剛 (静岡県会) 澁谷 英司 (岐阜県会)	氏原 亜由美 (愛知県会) 久野 誠一 (愛知県会) 松井 伸 (愛知県会) 白鳥 三和子 (静岡県会) 山田 英貴 (岐阜県会)	大島 嘉秋 (愛知県会) 後藤 久貴 (愛知県会) 松岡 和雄 (愛知県会) 鈴木 潤 (静岡県会) 土田 繁 (三重県会)				
監事	鷺野 直久 (愛知県会)	松下 友昭 (静岡県会)	井上 学 (岐阜県会)	内山 隆夫 (三重県会)							

2021年度の主な活動

1 中小企業経営者支援の取組

中小企業施策委員会では、公認会計士の知見が大企業だけでなく、広く社会の役に立つことを社会に向けて発信していくため、中小企業経営支援センター(愛称:経営ソムリエ相談センター)を2021年6月2日に開設しました。同センターでは愛知県弁護士会の無料相談センターである「Legal Linc あいち」とも協定を結び、協働して中小企業の経営者支援を行っています。



相談の様子



PRチラシ

経営ソムリエ相談センター(東海会事務局内) 無料相談電話窓口 052-533-1112 受付時間 毎週水曜日 10:00~16:00

2 地方公共団体等の公会計分野での取組

公会計委員会では、地方自治体に対して公認会計士が貢献できる領域の研究を行っています。その一つとして毎年テーマを変えて東海四県の地方自治体へのアンケート調査を実施し、その結果を公表しています。2021年度は「地方公会計推進の取組状況」のテーマでアンケートを実施し、127団体から回答を得ることができました。また、地方自治体職員向けのセミナーを開催し、毎年多くの方に参加いただいています。



アンケート結果報告

3 コーポレートガバナンスへの貢献

コーポレートガバナンスの広がりとともに、社外取締役・社外監査役の社会的役割は重要性を増しています。東海会では、2021年12月に「専門家である社外役員が果たすべき役割」をテーマに愛知県弁護士会と共同で研究成果の発表を行いました。今後も社外役員への専門家起用の重要性を社会に発信する取組を進めます。



研究成果発表(パネルディスカッション)

4 小学生・中学生への会計基礎教育の推進

「いちごケーキを作ったらいくらかかる?」など身近な話題を題材に、会計が日常に存在する大切な考え方であることを小学生・中学生と楽しく学んでいます(「ハロー!会計」)。各学校で開催する訪問型や参加者を公募する公開型で開催しています。新型コロナウイルスの感染が拡大してからはオンラインでも実施し、全国から多くの小学生・中学生が参加しています。



学校に訪問して開催した「ハロー!会計」

オンライン開催した「ハロー!会計」